

2010年度第1四半期 連結決算ハイライト (米国会計基準)

(単位:億円 △損失、減少)

2010年度第1四半期決算の概要

- 当第1四半期の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比198億円増益の402億円。通期見通し1,600億円に対し25%の進捗。下期型の繊維、情報通信・航空電子等を抱える当社の収益構造からすると順調な滑り出し。また、「投資及び有価証券に係る損益」以下の損益(③)は大幅に減少するも、実態利益の増加が大きく貢献。
一方、セグメント別では、5つのセグメントにて前年同期比増益を達成。金属・エネルギーが206億円増益の262億円、生活資材・化学品が33億円増益の55億円、情報通信・航空電子が23億円増益の18億円、繊維が17億円増益の26億円、機械は上場有価証券の評価損処理があったが7億円増益の3億円。前年同期に赤字であった機械、情報通信・航空電子も黒字を達成。食料と金融・不動産・保険・物流はそれぞれ前年同期の株式売却益、支配獲得に伴う一過性利益の反動もあり減益。
分野別比率では、資源・エネルギー関連が65%(262億円)、生活消費関連が33%(131億円)、その他が2%(9億円)。資源・エネルギーが大幅に利益を伸ばし、生活消費関連は、食料が前年同期の一過性利益がなくなったものの、繊維及び生活資材の改善により、前年同期並みの利益水準を確保した。
株主資本は前年度末比235億円減少(新会計基準適用に伴う株日本アクセス株式買増しのマイナス影響もあり(※))の1兆749億円。NET DERは0.1ポイント悪化し、1.7倍。

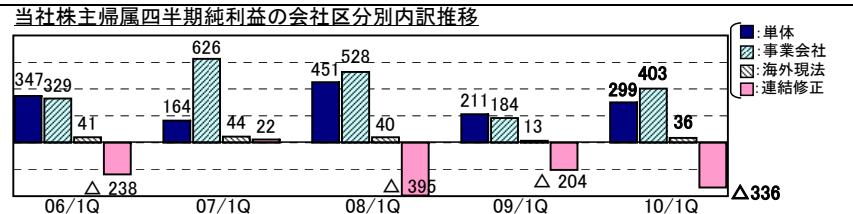
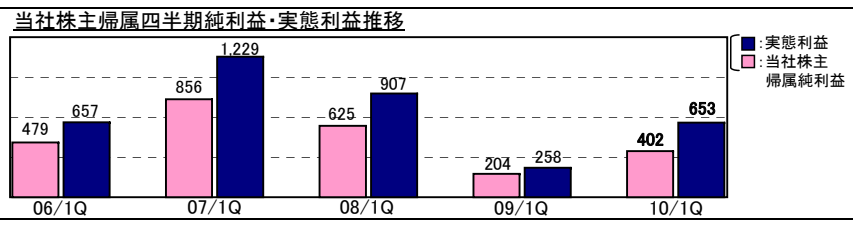
(※)は「平成23年3月期 第1四半期決算」添付資料P.8をご参照ください。

経営成績表: 2010年度第1四半期、2009年度第1四半期、前年同期比の比較。収益、売上総利益、営業利益、実態利益の推移を示す。

連結包括損益計算書: 四半期純利益、その他の包括損益、為替換算調整額、年金債務調整額、未実現有価証券損益、未実現デリバティブ評価損益、その他の包括損益(税効果控除後)計、包括損益、非支配持分に帰属する包括損益、当社株主に帰属する包括損益の推移を示す。

当社株主帰属四半期純利益の会社区分別内訳: 単体、事業会社、海外現地法人、連結修正の別内訳を示す。

内、海外事業損益(注3): 海外事業損益、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計、親会社の海外支店及び収益源が海外にある特定海外事業のため日本に設立された会社の損益を加えたものです。



オペレーティングセグメント情報: 繊維、機械、情報通信・航空電子、金属・エネルギー、生活資材・化学品、食料、金融・不動産・保険・物流、その他のセグメントごとの業績推移を示す。

黒字・赤字会社損益(事業会社+海外現地法人): 2010年度第1四半期、2009年度第1四半期、前年同期比の比較。黒字会社利益、赤字会社損失、黒字会社比率の推移を示す。

財政状態: 総資産、有利子負債、NET有利子負債、株主資本、資本合計、株主資本比率、NET DER(倍)の推移を示す。

キャッシュ・フロー: 営業活動によるCF、投資活動によるCF、財務活動によるCFの推移を示す。

主要指標: 3月決算会社、12月決算会社ごとの金利、ブレント原油などの主要指標の推移を示す。